

## 市民の皆さまへ

11月に入り、県内では、2件のクラスターが発生するなど新型コロナウイルス感染者が増加しており、11月12日には、一日あたりの最多を更新する10例が確認されました。

全国的にも、新型コロナウイルス感染症の「再流行の兆し」が顕著な状況となって来ております。

冬季に向かう季節の変わり目を迎え、季節性インフルエンザなどの流行も見込まれます。

市民の皆様には、今季は特に、インフルエンザの予防接種は、できるだけ早く済まされるようお願いいたします。

また、体調の管理はもとより、三密（密閉、密集、密接）の回避や人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いや消毒、換気を行うなど、今一度、基本的な感染防止対策の重要性について理解を深め、徹底していただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症には、「3つの顔」があるとも言われております。

第1の感染症は「病気そのもの」、第2の感染症は「不安と恐れ」、第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」であることを示したもので、新型コロナウイルス感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別を受けることが怖くて受診をためらい病気の拡散につながる負の連鎖を生むことを例示しています。

知らず知らずのうちに、不正確な情報やうわさ話などに流され、不安な気持ちとなり、感染の疑いがある人を差別や嫌悪の目で見てしまうことがあるかも知れませんが、新型コロナウイルス感染症は、全国どこでも、誰もが感染する可能性があります。

市民の皆様には、思いやりの気持ちをもって行動していただきますよう強くお願いいたします。

市民の皆様、心を一つにして、この難局を乗り越えていきましょう。

令和2年11月13日

釜石市新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 釜石市長 野田武則